

平成 23 年度予算案について（平成 23 年 8 月～平成 24 年 7 月）

皆様お仕事ご苦労様です。平成 22 年度の予算はほぼ予定通り達成できそうです。過去の実績と現況を踏まえて平成 23 年度の予算案が先日の理事会で承認されました。

東日本大震災から早や 4 ヶ月を過ぎましたが、一向に基本復興の萌しが見えてきませんし、福島原発事故の収束、今後の国のエネルギー対策と原発始動の可否についての見通しも立たずに放射能汚染による社会生活への影響拡大が懸念されています。先進国のなかで社会格差が拡がりつつある日本は、更に東日本と西日本での生活格差を背負うことになります。医療とて聖域では無く、高齢社会、長期療養あるいは合併症の増加など医療環境が著しく変化する中で、私共は先端医学の進歩と発展をいかに持続していくか、安全と患者さん満足度をいかに高め維持していくかの難しい局面に立たされ、これ迄以上の努力が求められます。

来年度の具体的事業計画は別途にお示ししますが、平成 26 年度に始まる王子病院と相生リハビリテーションクリニックの統合（具体的には王子病院の相生への新築移転）、現有施設のスムーズな統合に向けた将来構想委員会によるはまゆう会の今後の展望、“いつでも、どこでも、だれでも”が容易に、迅速に、安心してアクセスできる信頼性と透明性の高い連携室のあり方などを中心に据えて運営実行していきます。

国内外の情勢が緊迫する中で、相互補完と節約は常に念頭になければなりません、ともすれば過剰な抑制に陥りがちな発想から脱却して持続可能な新生はまゆう会を目指していこうではありませんか。皆様のご協力をお願いいたします。

平成 23 年 7 月 29 日

医療法人財団はまゆう会

理事長 市丸 喜一郎

（事業計画については事務長より報告させていただきます。）